

# 東日本大震災からもうすぐ5年…

三重県が実施した「防災に関する県民意識調査」の結果では、平成25年から平成27年にかけて、県民の防災意識の低下が顕著に表れています。市では、総合防災訓練の実施や「かめやま出前トーク」での防災意識の啓発などを通じて、今後も災害に強いまちづくりを進めていきます。

今回は、震災から4年半あまりが経過した今も、東北被災三県産品に対する風評被害が少なからず残っているとの情報もあり、このイメージを払拭するために被災三県の取り組みを紹介します。

災害への備えはできていますか？

地域の避難所はどこですか？

家具の固定や家の耐震化は？

食べ物の備蓄はしていますか？

災害発生時にすべきことは？

## <被災三県の取組紹介>

福島県



福島県市長会長  
相馬市長 立谷秀清

福島県の市町村は、今日も、東日本大震災からの復興に全力で取り組んでいます。私たち福島県民にとって何よりうれしいのは、全国の皆さんに今の「がんばる福島県」を素直に観て、食べて、飲んで、買って、ふれあって、笑顔の輪を広げていただくことです。これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。



宮城県



宮城県市長会長  
仙台市長 奥山恵美子

東日本大震災に係り、全国の皆様から温かいご支援を賜り感謝申し上げます。ご支援により復興しつつある宮城県内各地に足をお運びいただき、是非とも豊富な食材や自然、温泉、歴史など各市の魅力を楽しんでいただきたいと思います。皆様に安心して旅を楽しんでいただけるようおもてなしをすることが、更なる復興の励みとなりますので、今後も応援をお願いいたします。



岩手県



岩手県市長会長  
盛岡市長 谷藤裕明

東日本大震災津波からの復興にあたっては、全国の皆様から多くのご支援と励ましを賜り、心から感謝申し上げます。岩手県では、平成28年に復興の架け橋として「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を開催します。全国の皆様に、ご来県いただき、岩手の魅力を知って、買って、食べていただくことが、復興の大きな力となります。今後とも、岩手の復興への歩みと地域活性化に応援をお願いいたします。

